

「医学生・若手医師のための 第8回心身医学合同セミナー」 開催報告

会 期：2023年3月11日（土）
オンライン開催

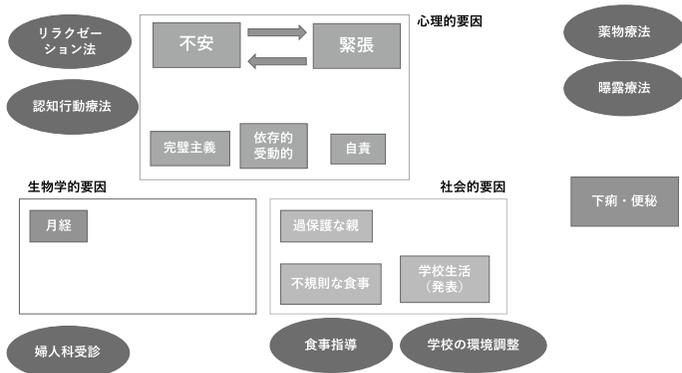
2023年3月11日（土）、日本心身医学会若手ワーキンググループ主催による医学生・若手医師のための第8回心身医学合同セミナーを開催した。前回に続き、今回もCOVID-19の流行状況を鑑み、オンライン（Zoom）開催とした。参加者は医学生5名、研修医4名、専攻医2名、他科医師3名の計14名であった。今回のセミナーの特徴は、過去のセミナーアンケートを参考にして、症例検討のグループワーク、医療面接のロールプレイの比重を重くした。そのため、例年のセミナーで実施していた心身医学総論、心理療法、医療面接の各講義は、事前配布資料を作成することで予習してもらう形とした。

最初に、発生から12年となった東日本大震災の犠牲者に黙祷を行った。その後、東京大学の吉内一浩先生から開催のご挨拶をいただいた。次に九州大学の宮田典幸先生から「心身症とは/病態仮説」について講義をしていただいた。具体的に症例を交えながら、病態仮説の立て方について解説していただいた。続いて、東北ろうさい病院の町田知美先生から「症例提示」を

行っていただいた。過敏性腸症候群の症例であったので、日本消化器病学会の診療ガイドラインの解説も織り交ぜながら説明していただいた。講義後は、小グループに分かれて、「症例提示」で提示された症例をもとに病態仮説図・介入についてグループディスカッションを行った。午後からは、各グループが発表を行い、作成した病態仮説図をもとに医療面接のロールプレイを実施した。ロールプレイは、参加者に医師役を演じてもらい、ファシリテーターとして参加した若手ワーキンググループ委員が患者役を演じて行った。

次年度は4年ぶりに対面開催を予定しており、参加者のセミナーへの満足度、理解度がより深まることを期待している。最後に、長年若手ワーキンググループを支援してくださっている吉内一浩先生および日本心身医学会に深く御礼申し上げる。

文責：阪本 亮
(近畿大学医学部内科学教室心療内科部門)



あるグループが作成した病態仮説図